

新たな森林空間利用創出対策

【令和3年度予算概算決定額 81,792 (120,532) 千円】

<対策のポイント>

地方の活性化に向けた「関係人口」の創出・拡大のため、森林空間を多様な分野で活用する「森林サービス産業」の創出・推進の取組や、「日本美しい森 お薦め国有林」の重点的な環境整備を行うとともに、森林と人との関わりに対する国民理解の醸成を図るため、全国規模の緑化行事の開催を支援します。

にっぽんうつく

<事業目標>

- 新たに「森林サービス産業」の創出・推進に向けて取り組む地域数（30地域以上 [令和4年度まで]）
- 重点整備された「日本美しい森 お薦め国有林（レクリエーションの森）」の利用者数（平成29年度比50%以上増 [令和6年度まで]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 全国規模の緑化運動の促進

31,792 (31,792) 千円

全国植樹祭、全国育樹祭、みどりの感謝祭等の開催を通じて、森林空間利用や緑化をはじめとした森林と人との関わりに対する国民の理解醸成を図ります。

- ① 全国植樹祭、全国育樹祭、みどりの感謝祭等の全国規模の緑化行事の開催
- ② 全国規模の緑化行事を効果的に行うための関連イベント等の実施

全国規模の緑化運動の促進



国土緑化運動による国民理解の醸成

2. 「森林サービス産業」創出・推進に向けた活動支援事業

20,843 (55,000) 千円

健康、観光、教育等の多様な分野で森林空間を活用して、新たな雇用と収入機会を生み出す「森林サービス産業」の創出・推進の取組を支援します。

- ① 「森林サービス産業」モデル事業（ワーケーションの推進を含む。）の実施
- ② 「森林サービス産業」創出に向けた課題解決型研修会の実施
- ③ 課題共有・解決のための効果分析・情報発信

「森林サービス産業」創出・推進に向けた活動支援事業

「森林サービス産業」の創出・推進に向けた取組の支援

モデル事業・課題解決型研修会の実施

【内容】

民間企業等と地域協議会等が、「企業の健康経営」による森林空間利用を核とした「森林サービス産業」の創出・推進に向けた課題解決に取り組むためのモデル事業や研修会の実施



効果分析・情報発信

【内容】

・効果の検証、先行事例等の分析
・企業等のニーズ側への効果の発信
・山村等の供給側への具体的実施手段の共有

森林景観を活かした観光資源の整備事業



木道の整備



通話可能エリアマップの整備

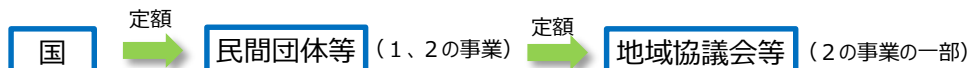


ワーケーション環境の整備 (Wi-Fi整備)



動画によるPR

<事業の流れ>



※ 3の事業は、直轄で実施

【お問い合わせ先】 (1、2の事業) 林野庁森林利用課 (03-3502-0048)
(3の事業) 林野庁経営企画課 (03-6744-2323)